

2023年 第46回 5・15沖縄平和行進参加報告

今回初めて沖縄平和行進に参加し、全国の青年部と共に平和行進、講和、学習会、視察を行ってきました。沖縄に来ることも初めてであり、最初は沖縄で起きている問題についてニュースや新聞などで見たことしか知らず、沖縄平和行進についても過去参加した方々の話を聞いたのみでした。しかし今回の平和行進の参加で、普段では知ることの出来ない沖縄の凄惨な過去や現在直面している米軍基地問題について、知ることが出来ました。

視察で訪れたひめゆり平和祈念資料館では、まだ学生だった女性たちが軍の看護要因として戦場に駆り出され、劣悪な環境での従事を強いられ、その多くが亡くなったことを知りました。資料館の展示品やレプリカの洞窟など見て、未来ある女学生たちがなぜこんな酷い目にあわなければならないのかと悲しい気持ちになり、平和の尊さを改めて実感しました。

普天間や嘉手納の視察では、人口密集地の中に置かれた米軍基地の危険性を目の当たりにしました。過去に起きた沖縄国際大学への米軍ヘリコプター墜落事故についてはニュースや新聞に取り沙汰されていたので知っていましたが、これほどまでに基地と住宅地が近いことに驚きました。騒音や墜落事故の危険に晒されている住民のことを考えると心が痛くなりました。

沖縄平和行進では、同じ目的を持った仲間とともに、沖縄の土地を自分たちの足で歩くという貴重な機会に恵まれたこともあり、およそ9 kmに及ぶ道のりを踏破することが出来ました。この平和行進は私の人生にとって素晴らしい経験になったと思います。

最後に、今回の沖縄平和行進を通して、沖縄が過去に経験した悲惨な戦争を繰り返させない。また、現在の沖縄で起きている米軍基地の危険な状態を解決させなければならないと思いました。そのためにも、このことを後輩や他の人々に話し、沖縄平和行進を後継の人々に繋いでいくことが日本の平和な未来のためにも大事であると考えました。

東海地方清水支部 中村 匡宏